

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成31年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
佐渡市	下水道事業	公共下水	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

(現行の経営体制・手法を継続する理由) ④知見やノウハウ不足により抜本的な改革の検討に至らないため ⑤事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から抜本的な改革の検討に至らないため	(左記で「⑦その他」となっている場合の詳細)
(今後の経営改革の方向性等) 低コストな資本投資や維持管理に努めていますが、地理的要因で広域化は不可であり、資本投資中であるため民間委託も難しい状況である。	